



すてきな作品をお待ちしています！

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。作品は未発表のもので、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。

★応募数が多い場合は選考をさせていただきます。(概ね50作品まで)

次回締切 4月25日必着 (掲載は6月号です。)(企画広報課)

みんなでつくるみんなのページ

みんなで575



おしよせる 敵のごとくに 舞台風
なべミガキ はつとびつくり 母の顔
松の内 すぎて酒の ランク下げ
冬晴間 お天道さまに 願ひ事
廻る寿司 あれこれ食べて 銭不足
病院の 迷路で脳トレ アトわずか
春まちて 菜の花生ける ひなまつり
初春の 海老蔵歌舞伎に 舞いあがる
冬鳥の 鳴き声遠くに 雪の朝
百選の メタセコイアの 雪化粧
久しぶり 友の笑顔に シヤツカ押す
入学式 希望に満ちた 一年生
人間も 規格通りに そろえられ
血管も 小川の様に さらさらと
バス停に 寄り添ひ主待つ 忘れ傘
雪や雪 除雪車が フル回転
大寒に ストープいらさず 初体験
立春とは 名のみ道路は 雪の壁
大臣よ 聞けば聞くほど 呆れるよ
ねこ元氣 雪の中でも よろこんで
大丈夫 息子「オレ」とは 言いません
ドカ雪や スコップ持つ手が 悲鳴あげ
さあ春だ 背筋のぼせと 影法師
水面上に 輪描きて潜ぐる かいつむり
火葬場に 手袋一つ 残しをり
病魔去り 青空のぞき 安堵顔
卓球に 集う仲間と 春迎え
ひっそりと 夜半に逝きし 母哀れ
春寒し 襟首立てる 露の臺
朝ドラで もらい泣きする 歳になり
豪雪に 行き合う人なく 冬ごもり
節分だ おににまけない いわしさん
妻寝顔 昔のかわいさ どこへやら
介護され 素直にいえる ありがとう
節電で インフルエンザ ほどほどに

木津 みね(高・拜戸)
風林 み津(安・西万木)
西川 五蔵三(高・高島)
岡田 芳子(マ・沢)
梅村 保次(安・四津川)
上山 惟裕(高・城山台)
高岡ふじ江(マ・小荒路)
頃常 芳子(今・今津)
添田富美子(安・常磐木)
曾根しづ江(マ・沢)
村田 ナミ(高・勝野)
山本 京子(高・高島)
平井 真造(安・上古賀)
池田よし枝(今・今津)
中崎 徳子(朽・桑原)
沢井 美代(朽・岩瀬)
川端 昭子(マ・高木浜)
畠山美智子(朽・麻生)
藤森みち子(朽・柏)
浅井きぬ糸(高・武蔵)
中河 仁子(今・今津)
益本さつき(マ・沢)
丸岡亜希子(新・藁園)
斎藤 光江(安・今在家)
落合 麻美(高・永田)
伊吹 忠義(マ・中庄)
山本 節子(安・西万木)
松山八夜夷(今・今津)
山本喜代治(安・長尾)
上原すみ江(新・太田)
高松 逸子(マ・西浜)
上田幸次郎(マ・浦)
寺尾 浩(新・北畑)
寺尾 輝代(新・北畑)
三科 聖子(高・勝野)

ほのほのと 子達の笑顔に 春近し
雪の中 梅の枝にも 春のにおり
春光に 光になびく 万華鏡
俳句やり 楽しみふえし もう一句
お涅槃会 みな童心に還って だんご撒き
節電で 夜は早よ寝て 朝おそく
春かすみ 遠くに浮かぶ 竹生島
野焼き立ち 鳥も通わぬ 村となり
新年度 学び舎・職場に 夢多し
洗濯機 待つ間も椅子に どっこいしょ
春風は 笑い転げて 袖を引き
杖つきて 耳栓はめて 八十路坂
充電し 自転車おのれる 春を待つ
座禅草 満願遂げし 春の風
ベダル漕ぐ 君の背中に 春の風
除雪車の 押し残す山 大き過ぎ
紅の 南天淡く 雪化粧
政治にも よき国手を 待っている
羽衣の 衣掛柳 余呉の湖
雪の朝 昔は高下駄 羅紗マント
大寒に 寒さにおびえ 炬燵かな
負けまいと 姉の背を見て 保育園
雪ほかし つかれた体に 晩酌を
気がつけば 雀は何処にも 居なくなり
雪解けや 安曇の川面に 霧立ちぬ
湖周路の 桜並木を ウォーキング
寝て痛し 起きても痛し ひざがしら
お洒落から 花を咲かせる 姥桜
用意だけ してはあります 花の種
水温む びわ湖に活気 鳥集う
詰めて詰 入れて詰るは 終電は
赤ちゃん いるのといわれ ダイエット
三十路すぎ 開花宣言 春がきた
夏までに 始めてみよう 塩麴
大雪とけて 軍手ギョッと 初仕事

早田 弘子(今・今津)
森本 幸枝(今・梅原)
久米 良彦(新・太田)
奥津とし江(安・川島)
粟津 満子(マ・山中)
前田 とみ(今・浜分)
桑 洋一(新・太田)
西 美津子(高・鴨川平)
寺田 義輝(マ・西浜)
松本せつ子(マ・海津)
西 晴明(高・鴨川平)
八田 信子(高・高島)
鞍田 作枝(新・藁園)
木津良太郎(高・永田)
墨友 光代(今・上弘部)
高澤 芳枝(今・松陽台)
西村ちよ子(高・音羽)
井口 みよ(高・高島)
山田 薫(安・北船木)
土井登美雄(安・三尾里)
岡田 明子(新・安井川)
久保 俊明(高・拜戸)
神田みさを(新・藁園)
貴瀬 勝(新・安井川)
伊庭 健博(新・深溝)
中内 保男(新・針江)
河原田 勝(今・岸脇)
高橋 久一(新・藁園)
河原田つた子(今・岸脇)
河原田つた子(今・岸脇)
石田 三造(新・深溝)
藤田麻衣子(高・勝野)
高嶋 美晴(高・勝野)
平井 ちく(朽・大野)

ご存知ですか？ 学生納付特例制度

国民年金には、学生本人の前年所得が一定基準以下の場合、申請して承認されると保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

学生納付特例が承認された期間は、将来支給される「老齢基礎年金」の受給に必要な期間(受給資格期間)に算入されるほか、万一の場合に支給される「障害基礎年金」や「遺族基礎年金」の受給資格期間にも算入されますが、「老齢基礎年金」の年金額には反映しません。承認された期間は、10年以内であれば遡って納付(追納)することができます。追納されるとその期間は保険料納付済期間となり、老齢基礎年金の額に反映されます。なお、承認された翌年度から起算して3年度目からは当時の保険料に加算額がつきます。

- ▼承認期間 4月～翌年3月
- ▼対象 大学(大学院)、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校等に在学されている20歳以上の学生の方
- ▼申請
 - ・市役所保険年金課または最寄りの支所窓口(申請には、学生証が必要です。)
 - ・平成23年度に学生納付特例制度により保険料納付を猶予されており、平成24年度も引き続き在学予定の方へ、日本年金機構から4月上旬に基礎年金番号等の印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が送付されます。
 - 同一の学校に在学されている場合は、このハガキに必要な事項を記入し、投函するだけで申請することができます。この場合は、在学証明書または学生証は不要です。

国保年金あらがると

平成24年度の国民年金保険料は、 月額 14,980 円です

国民年金の保険料額が見直され、平成24年4月から平成25年3月までの保険料は月額14,980円になりました。



＜早割制度がお得＞

毎月50円お得!

毎月の保険料の納付を、口座振替の早割制度(当月末振替)を利用されると、保険料が毎月50円割引になりお得です。手続きは、口座振替を希望される郵便局・金融機関、または大津年金事務所国民年金課で行ってください。

＜まとめて前納はもっとお得＞

年3,190円お得!

平成24年4月分から平成25年3月分までの保険料を、納付書でまとめて納付(前納)されると、1年分の保険料が3,190円割引となり、大変お得です。納付期限は5月1日(火)です。前納用の納付書は4月上旬に郵送する納付案内書に同封されていますので、ご確認ください。

国保の保険証は届きましたか？

4月1日からご利用いただく高島市国民健康保険の保険証(カード)を「簡易書留」で郵送しました。配達日にご不在だった場合は、郵便局で保管されています。まだお手元に届いていない方は、お近くの郵便局にご確認ください。なお、4月中頃からは、お近くの支所(新旭地域の方は市役所保険年金課)でお預かりしますので、ご連絡をお願いします。保険証がお手元に届いたら、必ず記載内容をご確認ください。

お済みですか？ 就・退職での国保・年金手続き

現在、国民健康保険・国民年金に加入されている方が、就職などで新たに社会保険に加入される場合や、退職などで社会保険の資格を喪失し、国民健康保険・国民年金に加入される場合は、各支所または保険年金課または各支所でお早めに手続きをしてください。

あなたの店や事業の広告を出しませんか？

募集 広告誌

■6月号締切 4月25日(水)
■掲載料 10,000円/1枠(28mm×85mm)

ホームページ

■5月掲載分締切 4月10日(火)
■掲載料 1か月10,000円

みてねっと! 「ウィークリーニュース」の最終画面に掲載主の社名表示付き!

国保年金課 ☎(056)8137